



死生学研究所 <公開> 生と死に寄り添うⅡ

大震災から5年が経過しましたが、新たな問題も加わってきています。本研究では、今後も人生活のすべての局面に関わる死生学の実践活動とともに、基礎研究にも力を入れてまいります。どうぞ公開講座とシンポジウムにご参加くださり、ご指導とご協力をお願いいたします。

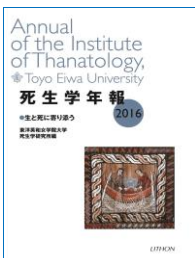
2016年4月
東洋英和女学院大学死生学研究所所長 渡辺和子

- 会場 東洋英和女学院大学大学院 201 教室
六本木駅（日比谷線徒歩10分）麻布十番駅（大江戸線徒歩5分、南北線徒歩7分）
- 参加費 連続講座各回 500 円、シンポジウム 1,000 円
(本学在校生・教職員は全回無料)
- 事前申込不要 □当日先着順 100 名様
- 問合せ先 東洋英和女学院大学死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp
〒106-8507 東京都港区六本木 5-14-40

日程 (土曜日) 30 分前から受付開始			発表者	所属	題目
4月23日	14:40~ 16:10	第1回 連続講座	佐藤弘夫	東北大学 文学研究科教授	団欒する死者たち—変容する死後世界のイメージ
	16:20~ 17:50	第2回 連続講座	高瀬顕功	大正大学 BSR 推進室研究員	「ホーム」を失って生きる
5月21日	14:40~ 16:10	第3回 連続講座	鍵和田聖子	京都美術工芸大学 講師	仏教における成仏と往生
	16:20~ 17:50	第4回 連続講座	西尾温文	一般社団法人 The Egg Tree House 代表理事	死別後の悲嘆に寄り添う —エッグツリーハウスの活動から
7月23日	14:40~ 16:10	第5回 連続講座	片岡朝子	本学附属 かえで幼稚園教諭	子どもにとっての死の体験 —保育者の死生観との関連で
	16:20~ 17:50	第6回 連続講座	渡辺和子	本学人間科学部教授	『ギルガメシュ叙事詩』における自然と人間
10月29日	14:40~ 16:10	第7回 連続講座	西洋子	本学人間科学部教授	被災地での共創表現—風はつなぐ、こころは野原
	16:20~ 17:50	第8回 連続講座	J.ファーナー	外国語学校英語教師, 喜多流能楽師大村定弟子	能作品にみる生者と死者の交流(能の実演あり)
11月19日	14:40~ 17:50	シンポジウム 生と死をめぐる 地域・実践活動	奥野滋子	順天堂大学 医学部客員准教授	健康とは何か—地域で支え、看取るために
			小川有閑	大正大学 BSR 推進室研究員	死別体験のある子どもとその後
			高橋原	東北大学大学院文学研究科 実践宗教学寄附講座准教授	ケアの場に求められる宗教性とは何か?
2017年 1月14日	14:40~ 16:10	第9回 連続講座	大林雅之	本学人間科学部教授	老いにおける性と死
	16:20~ 17:50	第10回 連続講座	森下直貴	浜松医科大学医学部 総合人間科学講座教授	老人世代の働き方—老成学からの視点
2月18日	14:40~ 16:10	第11回 連続講座	関智征	明治学院大学社会学部 研究所 研究員	終活と生きる力
	16:20~ 17:50	第12回 連続講座	福田周	本学人間科学部教授	山頭火—生涯と俳句からみた生と死の表現

(財)国際宗教研究所・共催
「生と死」研究会第15回例会
(司会・渡辺和子)

<2016年4月1日作成>



東洋英和女学院大学死生学研究所編 (リトン刊)

『死生学年報 2016 生と死に寄り添う』

定価 2,500 円 + 税 一般書店でご注文・ご購入いただけます